

音楽科学習指導案

単元名:

ベートーヴェン作曲『交響曲第五番』

(全3時間扱い中 第2時)

授業日時 2019年9月13日(金)第5校時

授業学級 2年C組

授業会場 音楽室

授業者

指導者

(1)ねらい

ベートーヴェンの心情を想像し、動機で何を表したかったのか考えることができる。

(2)授業のポイント

・交響曲の特徴を理解した生徒が、ベートーヴェンの人生を知り、ベートーヴェンは何を表現しようとしたのか考える。

(3)展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 前時の振り返りをする。	○「動機は何回出てきましたか。どんな動機がありましたか。」 ◇動機が「運命が扉を叩く音」という仮説を知っている生徒を指名する。	10分
	【学習問題】ベートーヴェンは本当に「運命が扉を叩く音」を表現したのだろうか。		
	2. ベートーヴェンの生き方、作曲時の生き方を知る。	○「ベートーヴェンの人生について知っていることはありますか。」 ◇ベートーヴェンの人生や、その時の状況について説明する。	
	【学習課題】 動機 の音や動きの変化とベートーヴェンの気持ちとの関わりに着目して考えよう。		
展開	3. 楽器を叩き試し、ベートーヴェンは何を表現したかったのか考える。	○「色々な楽器、色々な叩き方で 動機 を試してみるなかで、ベートーヴェンはどんなことを表したと思うか想像してみてください。」 ○「叩いてみて思ったことを発表してください。」	15分
	4. ベートーヴェンの心情を想像しながら『交響曲第五番』を鑑賞する。	○「ベートーヴェンの心情はどのような音にどのように表れているか考えながら聴いてください。」 ★『交響曲第五番』を鑑賞する。 【評価】ベートーヴェンの背景より、『交響曲第五番』で何を表現したのか想像し、ベートーヴェンの心情がどのような音に表れているか考えることができる。	10分
終末	5. 本時の学習を振り返る。	○「自分だったらどんな題名をつけるか考えよう。」 ○「ベートーヴェンは本当に「運命が扉を叩く音」を表現していたのか自分の考えをまとめましょう。」 ◇数名に発表を促す。	15分